

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
0268	61	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(/)
ナオス(片付ける)		0268	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0724 58	6. (簡単に)かたずけること	
0896. 22	9. 使う <子>	
1739. 85	9. <katatsukeru である。>	
1756. 32	3. <希>	
1854. 24	2. 時によつて使った。 ^{昔は?} 今はよつて使わない	
1862. 48.	9. [マラスという人があった。]	
1942. 03	6. <特別なものでなければ>使わない。 <店だから 散らかつたものは、これを naositeoke というときは使う>	
2619. 28	9. 女は使う	
2803. 22	8. <ゆかに作り(にもの)を> (片付ける、しめる、という事でいい)	

乱れたものを整えることである)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]	(3)
0285		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 ([B・C 除いた語形とその注記])	A 注のない語形 ([B・C 残した語形とその注記])
3639. 29	9. 片付ける torokeru	
3688 82	6. <道路に出ているものを邪魔にならぬようナオスのように>	
3723. 21	9. 片付ける. simaru	
3726. 21	8 (位置を正しくしたりする時に)	
3730. 43	9. 片付ける. しもうことは torokeru という.	
3733. 22	9. kadotsu geru, simaru という.	
3746. 76	6 <片付ける>	
3755 32	6 <片付ける意味に>	
3760. 93	1. (あおいさんが来るが、相調査者は、戸棚から出し書籍 をこまごまと棚にたすけという例を自分で自発的に言いつけ 「使う」と答えた)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 026S	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付ける)		026S
		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3762. 42.	9. [片づける.] シマウ.	
3767. 18	7. 「移動しお子の」エミとの位置にみく.	
4609. 07	7. <おしはかのE. kottja naositeokketja のよりに使う>	
4638. 43	9. simo: と. いう.	
4648. 04	6. <但し大子おの(家具はどの)E片付ける場合. 片寄 せる場合に使う. 戸棚の中にしる等の場合おははら.) <kottjino h: e naoseba e: 等と. 言う.>	
4648. 42.	9. <kotatsukeru. 2は. simou と. 言う.>	
4648. 59	9. (simawe. (命令形)であるが. 終止形は simou である.)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
26	61	(B 除いた共通語)	
項目名 ナオス(片付ける)		(C 除いた特殊語)	(X)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
K659. 50	9. 但し、同じ小口町でも軽蔑では使う。 (アンバエヨグナオシテオケ — ふい県合に(アハカ)	
K676. 60	9. Simam, katazakeru と云う。	
K688. 45	7. (整理 整備の意では用いない。)	
K694. 81	6. 戸たのの中にはしもう意味には使わない。	
K694. 95	9. tottekun と云う。	
K695. 21	9. simo: と云う	
K695. 33	8. <修整 改善の意では使う。>	
K700. 78	1. <(戸棚の中などに) エトナオセ (指=器具類に)>	
K701. 73	3. <稀> <スノウ カクツケルカ主>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉() ()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(5)
026S		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4704. 96	6 〈片付ける〉	
4722. 40	6. NR. 〈キントシテオク ^量 で使うが 産卵にナオスとは言わぬ。〉	
4731. 42	1. 〈片付ける〉意味には使うが、「産卵にナオス」とは「ス マカ」が普通〉	
4735. 37	2. 〈古〉 〈今でも少しは使うか〉	
4741. 43	7. 〈もどお) 55 と可る意。	
4762. 77	9. 〈kodaŋite o k ^量 o ŋ ^量 o ŋ ^量 〉	
4780. 64	9 〈k ^量 o d ^量 o ŋ ^量 o ŋ ^量 と云う〉	
4790. 74	9. 〈k ^量 o d ^量 o ŋ ^量 o k ^量 o ŋ ^量 o ŋ ^量 〉	
5538. 63	9. matai s ^量 o ŋ ^量 と云う。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]
		[C 除いた特殊語] (6)

地点番号	A 語形とその注記	[B・C 除いた語形とその注記]	A 注のない語形 ([B・C 残した語形とその注])
5546. 24	6. <ナオイテ クライ (片付けて下す)>という。		
5548. 60	4. <たらし上・希>		
5557. 48	9. <matai/jira という>		
5558. 22	3. <しかし修理の意味のときが多い>		
5574. 42	1. <35と可る。整理するの意。> (使われてはいるが、 5576. 60 9. <乱雑にゆすてある下駄なとて、 2.3とみて 35と ナオテオク という風に使うことはあるが、これは片付ける。しつとは違う)		
5591. 60	3. 余り使わない。		
5604. 28	9. (jim): という。		
5606. 83	9 但し okimōsum とは言う。		

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は秘密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]	(7)
0265		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5615. 65	9. <但しお膳を据えるこは「お膳をひきおろす」といふ。>	
5615. 78	8. (場所を正しく移す。正しい位置に移す意には用いる)	
5625. 82	6. 戸の中に入れておくことには云わない。	
5643. 83	7. (もともとはおりにするとか。) 片づけるは待つてはよいような大さきい つとめる時はナオラオテと云う。)	
5655. 57	9. <しらすをともゆう。>	
5680. 98	6. (そらをかたづけることはナオスといふ)	
5689. 98	7. (戸棚の中へ片づける意味には使わないが、机の上の本は とももとの位置にたとえてまよとめる意味には使う)	
5690. 96	9 <シマツケと言う>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]	(8)
036S		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5781. 65	9. <たゞし下駄をそろえるとは使う> (maderuと書く)	
5790. 79	7. (たゞし 整頓すると言う意味。元の位置に戻におくと言う意味では使う。おとしをたおすのよう)	
5791. 28	7. 「しる、片付ける」と同意義では使わぬ。元の位置にもどしおくを言う意味では使うとはぬ。	
5793. 20	6. 「片付ける」のときは使うが、「戸の中にしる」方には使わぬ。この方はmateruと書く。	
6277. 62	1. (なお隠しおみはうな意味でjinoburu, jinobe-toku などE使う)	
6296. 27	5. (nawasu, nawe=tokuという形で使われる)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(9)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6349. 80.	2. 〈古〉	
6368. 60	4. 〈たゞし新〉. /imam 〈ヒウのが古〉	
6389. 98	3. 〈しもう時に使う〉 〈一般的にヒトケが古〉	
6394. 43	5. 〈片付けたり. しもう時には ナウスと言う〉	
6408. 72	4. たゞし しいこは"とて. 新.	
6414. 25	9. 〈naosuヒウと都会こは"の感じがする〉	
6416. 58	9. 〈片付け子はトケルと言う〉	
6428. 13	4. 〈トツケと言うのが昔からの	
6432. 74	3. (締)	
6438. 33	1. 〈戸たはの中にしもう時にナウスと言う〉	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]	(10)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 + [B・C 除いた語形とその注]
6442. 25	3. 希	
6449. 20	4. シマウ. <集行>	
6460. 10	1. ireteoke, simo:ɕjoke などと。	
6467. 73	4. 昔は sinoberu と書いた。	
6470. 11	4. 昔は iretoku. atsumetoku と書いた。	
6471. 99	4. 近:3さしたことがあるという	
6472. 05	4. もとは toɕjageru	
6476. 93	9. シマウという。モト付。シマイシケの:”とくさう	
6477. 02	1. <サツサトナオシケ。>	
6479. 26	9. イレル. シマウ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は敢密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(11)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
6479. 51	9. /imau. tsumaeru などという。	
6482. 75	1. <naositoke などという>	
6484. 43	1. コレタナヘナオシトケヨ。	
6484. 78	7. モトシトコエナオシトケヨの類	
6485. 14	9. <これを片付けるのに使うのは、阿波の人か？ 鳥巢(久米町-坂本市内)の人で、使うのを聞いたことがある。しかしこの言葉とは、シマ。(シマシトケ) シマツスル。(シマツシトケ)というのが普通である。>	
6485. 46	9. <シマツシトケという。>	
6485. 82	4. (但し後8月1日同じ琴平町高敷の苗田謙三氏	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付ける)		0265
		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (12)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
	(日明治22年)について語同べたは。便うと答えて。さらにそれを “今頃より便う”と新しい意味に答えた。	
6486.93	9. <ミマイシトケ などヒって命じたりする。>	
6487.43	4. <但し これは中流以上の上品なことはでない。持 ける意味に用いる。普通はこの時。ソツチイツマエ トケ (そちらへしよておけ) などという。>	
6491.49	6. <乱雑になっているのを整頓し片付けさせるとき naosi toite kure のようにいう。産冊の中は どんしよの1は。jimo:toite kure のようにいう。>	
6491.65	1. <naosi-toke> などという。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (13)
		026S

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6492. 11	9. <oi-toite という。>	
6492. 50	9. (mosu は使う者もいる地域であるが、祖 調査の家庭環境、生育環境の関係から、この 語は取得させなかったのかもしいい)	
6496. 56	3. 但し、それは、丁寧な言い方である。	
6503. 73	1. タル。そに見えるものを片付け子とよに使う。 (そに見えないものには使わない。)	
6510. 65	9. 「マソベル」形を使う。	
6520. 50	9. <カタリケトケ>	
6522. 03	1. 特に命令形「ナセーヤ」という形のみ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (14)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注記]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6522. 79	9. 「今迄他人のいのちをきりにしたことないか」の質問にも「なし」と答えた。	
6534. 37	3. <使うことは使うが、シマウを「使う」ことの方が多し>	
6534. 85	4. <「なふる」は非常に丁寧で上品な言葉である。普通はkatasukeruの方を使うようだ。>	
6550. 96	3. セイリ。シマウ。	
6561. 49	3. 使うこともあるが、普通にはシマウという。	
6564. 33	9 <「しまう」と言う。>	
6565. 09	1. (ふつうの意味には使わないと思うので、何度か確かめた)。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付け)		(B 除いた共通語)	(15)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
6576. 28.	7. (エトオリ=ナオレオケ. などと使う)	
6583. 45	6. <「イラ・コー ナオセンロー」お前こエ片付け ないのか. 片付けてみけよ.>	
6590. 87	3. <たがし シマウの方を普通に使う.>	
6591. 81.	9. <シマウということばをEを使う>	
6593. 98	9. <「トットク」という.>	
6594. 67.	1. <ツタガツクはらんは気持ちで>	
6603. 52.	6. (戸はほの中への意味では使わない)	
6626. 06	9. <[naosu]と言うのは「修理する」時>	
6639. 43	6. (但し. 机の上などを整備する時には使う.)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(16)
024S		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6639. 79	6. 戸だなの中はしもうには使われない..	
6642. 85	9. Simaberu という。	
6646. 23	6. <小さなものを片付けるときはだけに言う>	
6649. 13	7. (「しもう」「片付ける」と「なおす」とは同意義ではない。 「元あった位置になおす」と言う意味で「なおす」を使う。)	
6677. 70	1. <naōsitfo'ke などと言う>	
6698. 20	1. <たとえは。[nūtono oji:repi na ose] (ふとんを 押し入れに片付けなさい) のように>	
6700. 48	⁶ (但し、机の上などは、「イーアンバー=ナオセ！」 のように、片付ける意味に使う。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 16	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付け)		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (17)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6711. 12.	6. (但し、机の上を整理するような時は使う)	
6730. 33	7. (何処に置く所が不定のものには使わない。これが普通。置く所が決まっている大きな物(自動車、椅子)が片付いていない時。 [なすてみけ]などを使う。戸だなや引出しの中へ、茶碗やコップなどを入れることを普通[しろう][かたづけ]という。 「しろう、片付ける」と「なオス」は同じ意味では無い。	
7309. 37	1. noketokum とお。自然の会話でこちらが来た。 noketokum が普通の言い方。	
7312. 11.	1. <しろうみく>	
7313. 34	1. katazukeru とおいう	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (18)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7320. 59	^{ex.} Inaoi to ku. (exの様に. ナオトクの標な熟語 形の場合もある. 単独にナオス だけ. 修理の意に使う)	
7322. 17	1. 時に入れとけとまいう.	
7322. 81	1. simau, kakusui とお.	
7323. 17	1. simotoke とまいう.	
7326. 41	7. <おととろにしまうという意味でnaigokeとまいう. ナスグルヤ 範囲は狭い >.	
7329. 29	9. noketoku. noke toke とまいう >	
7329. 57	9. <noke toke とまいう >	
7331. 27	9. <iruruとまいう > (筑紫郡一般には云々. 念押しに おまわぬとまいう).	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(19)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7332. 46	1. <nao i to ke の格に>	
7338. 48	9. <Simo:to-ke という。>	
7339. 27	1. <kire: pi naose>のようを使う。	
7342. 12	1. (但し ~o naoji toku の格は熟語形に使う。単独では「修理、修繕する」の意に使う。)	
7342. 76	1. 但し <nao i toku> の様な連語形式は使わない。単独にナオスは修繕すること。	
7349. 91	1. <sinoberu というが、これは古い。> (sinoberu は宇和島付近・津島田付近・南宇和郡 のみで使っている)。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付け)		(B 除いた共通語)	(20)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記	(B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形	(B・C 残した語形とその注)					
7351. 09	1. katazukuru. (整理の時) naetoku (戸棚の中への時)								
7351. 68	1. katazukuru ともいう。								
7352. 38	5. T=7L nawasu. おくすという意味がある。								
7361. 17	5. ナオス <新>								
7362. 42	5. ナオスはせ>希。								
7362. 67	1. ナ ^ニ エ ^ニ ナ ^ク レ ^ル という。								
7372. 27	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>ナオス (もとのよに整理する)</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">と使われる</td> </tr> <tr> <td>ナワス (戸棚などにしる)</td> </tr> </table>	{	ナオス (もとのよに整理する)	}	と使われる	ナワス (戸棚などにしる)			
{	ナオス (もとのよに整理する)		}			と使われる			
	ナワス (戸棚などにしる)								
7372. 96	<ナワス. ナオス という>								

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		B 除いた共通語	(2/)
026S		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記	B-C 除いた語形とその注	A 注のない語形	B-C 残した語形とその注
7373. 99	1. <ナオス・カヅメル ともに使う>			
7374. 15	1. (1. ナエアトク. 2. ナオトク (新) とう 1.2 ともナオスという単語終止用法はないようである)			
7382. 97	5. ナワス (例. ナワヤトク [-wajetok]) } 両用可. アトホヤクスル (例. アトホヤメントク)			
7390. 26	5. ナワス (廃形). ナオス. を使う.			
7392. 33	5. ナオトク (希)			
7394. 85	9. <akameru とう>.			
7400. 11	9. (<simo: tfoke> とう由)			
7401. 11	9. <kadzumeru とう>			

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記 ページ
項目名 ナイス(片付ける) 026S		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (22)

地点番号	A 語形とその注記	B・C 除いた語形とその注記	A 注のない語形	B・C 除いた語形とその注
7401. 60	1. naosi tokina. naosi toke no to ikan ja.			
7402. 42	9. こわれはものを修繕することという。			
7402. 47	9. <katazumeru>という。			
7403. 16	1. <naosi toke> (〰tokeは~te okeの融合)			
7403. 21	1. (仏教に修ったものは〰を片付けるのは。<modosi to oke>という由。)			
7403. 86	9. (<simo:toke>という由)			
7404. 12	9. <modosi toke, simo:toke>という。 (~tokeは~te okeの融合からである。)			
7410. 57	9. (noke-toku. simo:toku 命令には toke)			

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B] 除いた共通語	(23)
026S		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記	[B・C] 除いた語形とその注記	A 注のない語形	[B・C] 残した語形とその注記
7411. 27	1. <modosi toke ということもある> (武智正人氏の「愛媛の方言」によると直信地方(重信町、川内町、小野村、久各村)には使われていない。一般的にはこの言い方は忘れられて来ているのかも知れない)			
7411. 61	1. <naosi-toke などという。>			
7412. 26	9. Jimqtu suru			
7412. 71.	9. <oitoke> という曲。			
7420. 18	9. (<nokemu. noke-toke> という曲)			
7420. 91.	9. <noke toku という。>			
7421. 38	9. (<noke-toke> のように言う曲)			

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(24)
0065		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注	(B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
7421. 62.	9. <modosi take とか ~e oitoke とか>		
7425. 02.	7. T=ri ひくりに返っているものなどを元通りにする時などに使用する。片づけるにや>近しい用法か。		
7430. 15	9. <noke toku. (E)jimo: toku >		
7430 75	9. <modosu >		
7430 80	9. <noke toku, toroge toku >		
7431- 08	1. (<naosi toi te... >という由。)		
7431. 13	9. <noke toku >		
7432. 95	5 <もとのふりにしておきほう>		
7433. 52.	1. nao itoke などのふりに適用形を言うのが普通。		

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		(B 除いた共通語)	(25)
026S		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7440. 72	9. <都会かぶれした人などの中にはnaosi-te oke などと、片付けさせることというのもある。>	
7442. 75	9. <クルメルヒウ>	
7450. 20	6. <katajoseru こと>	
7470. 29	1. <金オ ナオシヨケ>	
7471. 33	1. <洋服オ. タンスエ ナオシヨケのように使用>	
7500. 66	9. <他人が使えば"わかるが、自分では使わない。モノトコエオケを使う>	
7501. 72	9. <シマウ ということば"を用いる。>	
7502. 22	9. <最近 (他方言の影響で) 使うようになった人もある>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]	(26)
026S		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記	[B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形	[B・C 残した語形とその注]
7502. 91	9. <カズ ^ス ケル とか..ヨジメル E 使う.>			
7511. 66	3. <シマ内の方を多くつかう.>			
7512. 83	9. <カズ ^ス ケル E 用いるが. ナオスで ^は め ^か ら ^は は ^な い.>			
7522. 48	4. <共> <ヨジ ^メ ル E 多く使う.>			
7522. 94	3. <シマ内. ナオス. カズ ^ス ケル などの方を 使うに ^は が多い.>			
7523. 30	4. <共> <ヨジ ^メ ル E 多く使う.>			
7533 11	4. <共> <ヨジ ^メ ル E 多く使う.>			
8303. 13	4. [新] <元来は hosomenu と言う.>			
8305. 73	1. <naofitokku ともいう.>			

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (24) ⁷
26	61		
項目名 ナオス(片付ける)		026S	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8313. 72	9. <hosometjoku へいう>.	
8324. 26	1. ナオシクはナイチヨクに ^レ なる.	
8324. 83	1. (nawitq (直したのイ音使直したの転化)と いう。現在形は去に<<。過去形はで言う。)	
8334. 25	1. <但し. naitjoku or. naitjot と言う>.	
8335. 11	9. <sinoburu へいう>.	
8373. 83	1. T=xl kobameru と多く言う。	
0237. 79	1. no=suri.	
0238. 55	nawafuro. no=furo. 併用.	
0246. 48	1. no=sum.	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 サオス(片付ける)		B 除いた共通語	(28)
0265		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記	〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0247. 31	1. no:sur		
0247. 56	1. no:suri		
0249. 17	1. no:suri		
0256. 08	1. no:sum		
0256. 76	1. no:sum		
0256. 89	1. no:sum		
0257. 12	1. no:sum		
0257. 43	1. no:sum		
0265. 96	1. no:sur. no:sui.		②31は.021,022の〈〉の 後
0275. 36	1. no:sur		

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナイス(ナイス)		(B 除いた共通語)	(24) ⁹
0265		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0275. 97	1. no:sun. no:furi. (語尾の区別は21. 22. 23の<>内参照)	
0276. 50	3. no:sun. no:sui (語尾の区別は21. 22の語参照)	
0294. 66	1. no:sun.	
0294. 93	1. no:sun. no:samu.	
1213. 76	1. no:sun. no:suji.	
1231. 72	9. <hət'adzikijunという。>	
1232. 29	1. <なお可に当る語形はno:sun>	
1232. 75	3. <no:sunというが。それ外はkataziki:ni(1つり)という。>	
1241. 96	1. no:sun	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は縦密にする。

質問番号 26	地図番号 61	A 普通注記	ページ
項目名 ナオス(片付ける)		[B 除いた共通語]	(30 等)
026S		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1242. 22	9. (「なます」に当る語形は no:ΦUN)	
1251. 73	9. 〈片付けるのは jizimi:N といふ。〉	
1260. 87	9. (「なます」に当る語形は no:SUN)	
1261. 32	9. (「なます」に対応する語形は no:JUN)	
1261. 80	9. (「なます」に当る語形は no:SUN.)	
1270. 26	3. 〈no:SUN をかたづける意味にも用いるが、kataziki: N を多く用いる。〉	
2075. 22	9. 〈片付ける意には jizumirUN である。〉	
2076. 25	9. 〈sitsimirUN とは…… sitsimirUN を多く用いる。〉	
2085. 69	3. no:sun よりは jizumirun を多く用いる。	

